

# 新穂の穂り



## 平成26年度 第2回学校評価検討委員会の報告

新穂中学校では、一年間の教育活動について目標を設定し、達成状況や達成に向けた取組が適切であるかどうかを評価することで、結果に基づき改善を図っています。この取組を学校評価といいます。学校評価は、日々の取組の様子を見取って結果を蓄積し、1学期・2学期末に生徒と保護者にアンケートを取って集計・分析しています。

この学校評価を保護者の代表や学校に関わる組織の役員の方に公表・説明し、ご意見をいただいて、次年度の教育活動の改善を図ることが求められています。このようにして学校・保護者・地域が連携協力して学校をつくっていかうと話し合う会議が、学校評価検討委員会です。今年度は、第1回会議を9月26日（金）に、第2回会議を2月18日（水）に行いました。以下は、会議の内容です。（抜粋）



今後、学校評価（自己評価）・学校関係者評価を活かして、次年度の教育活動の改善を図っていきます。

|                          | 知育<br>(学力、学習意欲等)   | 徳育<br>(生活態度、規範意識)                        | 体育<br>(運動、生活習慣等)                                 |
|--------------------------|--|--|--|
| 目 標                      | ①学習に進んで取り組んでいる。<br>②家庭学習ノートを毎回提出している。  | ①相手のことを考えて行動している。<br>②よりよい生き方を考えるようになった。 | ①体力向上を意識した取組をしている。<br>②健康のために食事に関心を持っている。        |
| 達成の様子<br>(アンケート<br>肯定回答) | ①前期89%、後期91%<br>良好<br>②前期73%、後期72%<br>家庭学習に課題あり  | ①前期93%、後期96%<br>良好<br>②前期93%、後期95%<br>良好 | ①前期90%、後期88%<br>おおむね良好<br>②前期90%、後期86%<br>おおむね良好 |
| 評価委員<br>会議の提言            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化が図られていることは良いことだが、それに伴って成績も上昇するように、内容の質を高めてほしい。</li> <li>・新潟県は全国学力学習状況調査の結果が良くなっていると聞いている。新穂中学校も上昇傾向にあるようだ。</li> <li>・職場体験の職場選びは、子ども任せなのか。他校がやっているようなトキや新穂銀山をガイドするような活動を取り入れられないか。</li> <li>・いじめ問題について保護者も関心がある。未然防止・早期発見・早期対応の取組を行う。</li> <li>・保護者から、子どもの規範意識が高まっているという回答が増えている。良いことだ。</li> <li>・子どもの睡眠時間が気になる。スマホの所持率など実態を調査するべきではないか。ノーメディアの取組などを小中連携して行ってほしい。</li> <li>・対外競技で県大会レベルまでいっている部活動がある。今後がんばってほしい。</li> </ul> |  |  |

26年度学校評価検討委員の皆様 ありがとうございました

尾崎清孝様（後援会長） 土屋一春様（同窓会長） 尾田春俊様（民生児童委員会会長）  
近辻道子様（主任児童委員） 後藤勝弥様（新穂地区公民館長）  
佐山真理子様（学校評価委員） 高橋正行様（新穂中学校PTA会長）

## 第2回生徒総会

2月13日（金）5・6校時、ランチルームで第2回生徒総会が行われました。子どもたちは総会の数日前、各学級で総会資料を読み、質問事項を考えて総会に臨みました。活発な質疑応答がなされました。各質問者は生徒会活動がさらに活発になる前向きな発言ができました。

後半は、次年度の新役員・新委員長・新部長への引き継ぎ式が行われました。とてもさわやかな生徒総会でした。

### プログラム

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| (1) 開会宣言     | (7) 議長団あいさつ     |
| (2) 生徒会長あいさつ | (8) 引き継ぎ式       |
| (3) 議長団あいさつ  | (9) 生徒会副会長のあいさつ |
| (4) 出席確認     | (10) 校長先生のお話    |
| (5) 議事       | (11) 閉会宣言       |
| (6) 議事録承認    |                 |



生徒総会の様子



引き継ぎ式の様子

### 新生徒会役員

|        |       |           |       |
|--------|-------|-----------|-------|
| 生徒会長   | 飯田 聖  | 代議員長      | 齋藤 瑞樹 |
| 生徒会副会長 | 木下洋一郎 | 代議副員長     | 本多 千愛 |
|        | 本田 千結 | 生活委員長     | 佐藤 碧  |
| 生徒会本部  | 引野 晃太 | 保健委員長     | 相田 優  |
|        | 森田 野衣 | 図書委員長     | 川上 翔子 |
|        | 本間あんり | 広報委員長     | 炭屋 柊輝 |
|        | 清水 紫  | ボランティア委員長 | 相田 征慎 |
|        | 川上 龍久 | 給食委員長     | 本間 拓真 |
|        | 樋口 天音 | 選挙管理委員長   | 和田恵理子 |

〈第3回実用英語技能検定〉1月23日（金）実施

|      |   |
|------|---|
| 3級合格 | 飯田 聖 清水 紫 引野晃太（2年）  |
| 4級合格 | 相田 優 川上翔子 木下洋一郎 炭屋柗輝 仲道紗千子<br>本多千愛 本間あんり 本間拓真 本間里加 和田恵理子（2年）<br>池野綾華 池野美音 川上龍久 野田青良 樋口天音 松村奈々（1年） |
| 5級合格 | 大坂直生 金子萌美 金子 凌 齋藤莉央奈 柴山一樹 渡部 遥（1年）  |

### 3月のおもな予定

|        |                         |              |             |
|--------|-------------------------|--------------|-------------|
| 2日（月）  | 全校朝会                    | 16日（月）       | 全校朝会        |
| 4日（水）  | 三年生を送る会                 | 21日（土）       | 春分の日        |
| 8日（日）  | 朱鷺健康マラソン                | 24日（月）       | 3学期終業式      |
| 9日（月）  | 1、2年実力テスト<br>高校入試（学力検査） | 25日（火）       | 離任式         |
| 10日（火） | 高校入試（学校独自検査）            | Webテスト（1、2年） |             |
| 12日（木） | 第68回卒業証書授与式             | 3日（火）        | 4日（水） 6日（金） |
| 13日（金） | 高校合格発表                  |              |             |

### 4月のおもな予定

- 6日（月）新任式、始業式、入学式、PTA入会式
- 15日（水）～17日（金）3年修学旅行
- 17日（金）1年新穂地区探訪、2年島内探訪
- 21日（火）全国学力学習状況調査
- 25日（土）フリー参観、PTA総会



### 新穂中学校の取組が「にいがたスクールECOガイド」に紹介されます

新潟県教育庁義務教育課では、環境教育支援事業として、学校で環境教育を行う際に役立つ情報をリストアップし、義務教育課のホームページに掲載しています。これが「にいがたスクールECOガイド」です。

県内の各学校で継続して取り組んでいるスクールエコ運動や環境保全活動等の取組事例、環境教育に関する各種お知らせ、研修会の開催や教材等を紹介しています。また、学校が環境教育に取り組む上で、参考となる情報サイトを紹介しています。

この度、新穂中学校で行っている植樹活動や地域での活動がホームページで紹介されることになりました。次ページに概要を載せておきました。どうぞ御覧下さい。



# 朱鷺が住みやすい環境づくりの取組

佐渡市立新穂中学校

## 1 活動の概要

当校は、「朱鷺野生復帰ステーション」に最も近い場所に立地している中学校である。校舎からは、美しい朱鷺が舞う姿を見ることができる。生徒や地域の方からも「朱鷺が住みやすい環境づくりをしたい」という言葉が聞かれる。環境保全に対する意識は高い地域である。一方、生徒の中には意識が高くないものも見られる。

生徒がデザインしたポスター



### (1) 植樹祭への参加

「第42回佐渡地方植樹祭」は、新穂地区で実施された。当校では、昭和56年から緑の少年団の活動に取り組んでいる。毎年実施される他校生徒との交流活動や植樹活動・育樹活動に継続して取り組んでいる。

生徒による植樹活動



### (2) 新穂地区探訪

新穂地区には豊かな自然環境や貴重な文化遺産が多くあるにもかかわらず、知らない生徒が多い。そこで、入学したての1年生全員が、歩いて地区内を探訪する活動を行っている。担任から説明を受けながら24kmという長距離を1日かけて歩く。運がよければ、国際保護鳥の朱鷺を観察することができる。

地区内をぐるりと一周



## 2 生徒の変容

生徒からは、「いつまでも、朱鷺と人間が気持ちよく暮らせる環境にしたい」という感想が多く発せられ、環境に対する気持ちに変容が見られた。これらの活動は、自然が豊かな地域に住んでいながらも、自然に触れ合っていなかったことを実感するよい機会となっている。また、環境のよさや自然に親しむ喜びを感じている生徒も増えている。今後も、地域に誇りが持てる生徒の育成のため、朱鷺と人間が住みやすい環境づくり活動に継続的に取り組んでいく。